

1月10日に「輝け下野エール大使」となられた方をご紹介します!

敬称略

うがち ようこ 宇賀地 洋子 (彫刻家)

下野市出身。作品「暁」にて「サロン・ド・プランタン賞」受賞、二科展にて「大海原」が「安田火災美術財団奨励賞」を受賞しました。

フランス国立エコール・デ・ボザールに留学し、本市児童表彰でのメダルのデザインを手掛け、母子をテーマに作品を制作していることから、「下野市教育のつどい」記念講演では「母は応援団長」と題し講演いただきました。



やまなか かずま 山中 一馬 (能楽師)

栃木県立石橋高等学校卒業生。平成26年5月下野国分寺跡での薪能や、新庁舎開庁後、復曲能「穴戸」を公演していただきました。

金春流シテ方であり、国の重要無形文化財総合指定保持者として認定され、金春会を中心に活動、自己研鑽及び後進の育成の場として「櫻詠会」を主催し、能楽の指導・普及に努めていらっしゃいます。



おちあい えいじ 落合 英二 (プロ野球コーチ)

下野市出身。作新学院高等部卒業後、日本大学に進学し、東都大学1部リーグでは150km/hのストレートを武器に活躍しました。その後、中日ドラゴンズに1位指名で入団し、投手として活躍。2006年に現役を引退した後は、野球解説者を経て、韓国の三星ライオンズで投手コーチとなり、2015年からは千葉ロッテマリーンズの一軍投手コーチを務めています。



たかとう なおひさ 高藤 直寿 (柔道選手)

下野市出身。パーク24(株)に所属。

小学1年生で柔道を始め、2011年世界ジュニア選手権60kg級優勝、2013年世界選手権60kg級に初出場で初優勝し、市民栄誉賞を受賞しました。リオデジャネイロオリンピックでは、銅メダルを獲得しました。得意技は小内刈、巴投げ、肩車など。



しもの ひろ 下野 紘 (声優)

平成26年に、名字と本市の名前が同じという理由で、ヒヤダイン(音楽プロデューサー)と人気DVDの撮影に訪れました。

多くのアニメや映画に出演しており、若者から絶大な支持を得ています。

【アニメ】進撃の巨人、うたのプリンスさまっ、ダイヤのA、弱虫ペダルなど
【吹き替え】ザ・スナイパー、ハリーポッターと炎のゴブレット、ファンタジー・ファクトリーなど



ザ・たっち(お笑い芸人)

下野市出身。(株)ホリプロコムに所属している双子の芸人で、「PON!」、Youtube「ホリプロコムのお笑いゲーム実況」などに出演中です。

双子であることを上手く使ったショートコントやモノマネ芸を得意とし、おすぎとピーコのモノマネや「ちょっと!ちょっとちょっと!」・「幽体離脱～」などのギャグで人気を博しています。

